

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	消費者問題 2 (Consumer Affairs 2) 393147-14500					担当教員	赤塚 浩一 (アカツカ コウイチ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	協同学修型 AL/外部講師招聘科目/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要									
<p>最新の情報通信技術(ICT)を利用した製品・サービスは、その実体や潜んでいるリスクを見抜くことが難しい。そのため消費者問題は、被害の未然防止や被害発生を検知・解消が難しい、深刻な問題になってきている。本講義では複雑化・深刻化する消費者問題を、ICTを利用したハイリスクな製品・サービスの具体的事例を交えて、背景となる ICT の概要と共に学ぶ。</p> <p>本講義は消費者力検定、消費生活相談員資格試験、消費生活アドバイザー試験に対応する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力/コミュニケーション能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
ブレインストーミングとプレゼンテーションはグループ単位で実施する。他メンバーに負担をかけないため、欠席・遅刻・無断退席は控えること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
「消費者問題1」を履修していることが望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) ICT の最新キーワードに惑わされずに、製品・サービスの実体とリスクを見抜ける「賢い消費者」になる。									
(ii) 未来の起業家・企業人として、「故意や過失による加害者」にならない。									
⑥ テキスト（教科書）									
テキストは指定しない。 各回、レジュメを配付する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
消費者白書 令和元年版（消費者庁ホームページから無償でダウンロード可能）									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%		20%			30%		100%
(i) 製品・サービスの実体とリスクを見抜ける	30%		10%			15%		55%
(ii) 故意や過失による加害者にならない	20%		10%			15%		45%
フィードバックの方法	ブレインストーミングでの発表内容は、講義の場で直接フィードバックする。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
全員参加型のブレインストーミングで、講義内容の理解を深める。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション	配付資料	講義で説明した事例の概要調査	60分
2	最新 ICT 技術概説 1	配付資料	講義で説明した ICT 技術の概要調査	60分
3	最新 ICT 技術概説 2	配付資料	講義で説明した ICT 技術の概要調査	60分
4	消費者と情報セキュリティ	配付資料	情報セキュリティ事故のインターネットでの調査	60分
5	消費者と個人情報保護	配付資料	個人情報流出事故のインターネットでの調査	60分
6	消費者と知的財産権	配付資料	知的財産権の概要調査	60分
7	消費者と依存症・炎上問題	配付資料	依存症・炎上問題の事例調査	60分
8	消費者と品質問題	配付資料	品質問題の事例調査	60分
9	消費者とビジネスモデル	配付資料	ビジネスモデル事例のインターネットでの調査	60分

10	消費者と AI	配付資料	AI 活用型ビジネス事例のインターネットでの調査	60 分
11	ICT 利活用と これからの仕事	配付資料	ICT 技術の志望する業界への影響調査	60 分
12	長岡地域の消費者問題の最新動向◆	配付資料	消費者センターでのヒヤリング・質疑応答内容の整理・まとめ	60 分
13	ブレインストーミング 1 (テーマ選定、原因分析)	配付資料	テーマ選定に必要な情報収集	60 分
14	ブレインストーミング 2 (対策検討、発表資料作成)	グループ作成資料	検討内容深掘りに必要な情報収集・分析	60 分
15	プレゼンテーション (グループ発表、全体討議)	グループ作成資料	討議内容に関する情報収集・分析・まとめ	60 分

⑪ アクティブラーニングについて				
協同学修型 AL を採用する。グループ別にブレインストーミングを行い、グループの検討結果を全受講者に対して発表する。				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
ICT 企業に勤務し、インターネットを前提にした新規ビジネスモデルの構築・運用を担当した。新ビジネス推進に欠かせない民法・個人情報保護法等の法規制、品質マネジメントシステム、情報セキュリティ、知的財産権等の関連業務も並行して担当した。 また中小企業診断士・技術士として、県内外の中小企業の経営課題・技術課題の解決を支援してきた。				
実務経験と授業科目との関連性				
インターネットを前提にした新たなビジネスモデルの、企画・構築から運営までの全プロセスを知る者として、AI/IoT/RPA、仮想通貨、ビッグデータ等の ICT キーワードの本質、ビジネスでの利用等を、消費者への影響という視点で説明することができる。				